

市制施行5周年記念式典

4月27日㈯、美祢市民会館大ホールにて、市制施行5周年記念式典を挙行しました。関係者約700人が出席し、美祢市の5年の歩みを祝いました。

式典では、村田市長による式辞、秋山市議会議長の挨拶や、地元選出の国会議員河村建夫衆議院議員、台北駐福岡弁事処長ほか来賓の皆さんからお祝いのお言葉をいただきました。また、様々な分野で市勢に功績のあった5人、18団体に表彰状及び記念品の贈呈を行いました。

続いて本日の式典の開催に併せ節目となる5周年の記念事業として、市内小中学校の児童・生徒から募集した作文の最優秀賞の表彰及び発表、未来に残したい美祢市の風景をテーマに募集した「美祢5景」写真の入選作品の表彰を順次行いました。

終わりに、合併した2008年3月に生まれ、美祢市と共に5歳を迎えた児童による市民憲章の唱和により式典行事を閉じました。

式典終了後にホールでは、ふるさと交流大使の入山アキ子さんの歌唱によるアトラクションと市役所敷地内に市の花「桜」の記念植樹を同時に開催して、市民全體でお祝いしました。

また、記念講演として元プロ野球選手桑田真澄氏による「夢への挑戦、そして実現へ」講演を開催し、全ての行事を終了しました。

なお、市制施行5周年を記念して、今回特別号の発行を行っております。特別号では功労者表彰の受賞者紹介や、5周年記念作文募集において最優秀賞を受賞した作品の掲載をしておりますので、ぜひご覧ください。



市制施行5周年の記念に、交流を進めている台北駐福岡弁事処の戎処長からも祝辞をいただきました。



功労者表彰を受けられる皆さんを紹介し、村田市長が表彰状と記念品を贈呈しました。(写真は篠田貴美子さん受賞時)



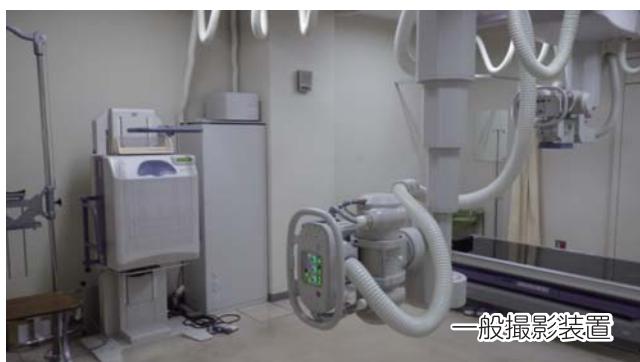
式典後には5周年を記念し、ソメイヨシノの植樹を行いました。(写真前列右側:吉田桃歌さん、前列中央:木村愛星さん、前列左側:田代凌眞さん、後列右側:秋山市議会議長、後列中央:村田市長、後列左側:森中県議会議員)



式典後には、ふるさと交流大使の入山アキ子さんによるアトラクションを行いました。

病院だより 54

美祢市立病院 新規導入医療装置の紹介



美祢市立病院放射線科では、一般撮影・乳房撮影・透視撮影・CT撮影・MRI撮影・血管撮影を主な業務として行っています。今年度、その中の一般撮影装置・透視装置を更新しました。一般撮影装置は美祢市立病院が開院当初（平成2年）から使用してきたもので、胸部・腹部・骨の撮影を行う装置です。CT撮影やMRI撮影のような派手はありませんが、なくてはならない装置で、病院に患者さんが来られてレントゲン撮影を行うにあたり一番最初に行う検査です。新しく導入した装置は、一般撮影装置が東芝メディカルシステムズ社製（MRAD-A50S）で、検査室内での診療放射線技師の操作性が大幅に向上され患者さんの近くで操作できる効率の良い装置です。今まで離れて操作する際に患者さんの転倒等不安がありましたが、今後は患者さんの近くである程度、操作が出来るため安心して検査が出来ます。今までとはデザイン

も一新され、最近では難しい体位のニーズも多くなりましたが、従来に比べて大変使いやすい装置となりました。約20年間使用した装置も平成24年度を最後に終わりました。

次にX線TVシステムは、平成14年から約10年間使用しました。新しく導入された装置は、東芝メディカルシステムズ社製（DREX-ZX80）で、消化管造影検査から血管造影検査まで幅広く撮影が可能な装置となりました。従来の装置と比べ高画質になり、装置もコンパクト化され多目的に使用できます。午前中は特に胃透視などのバリウム検査等に使用し、午後から特殊撮影（大腸内視鏡・胆囊・胆管検査）

などの検査を行います。新しい装置は、全てデジタル撮影を行い大変見やすい画像を提供する装置です。以前はフィルムで画像診断を行っていましたが、モニター診断が出来ることになりました。X線TVシステムの更新により、美祢市立病院放射線科は、全てデジタル撮影が可能になりフィルムレス化に移行しました。（マンモグラフィはフィルムも併用）フィルムレス化に移行することにより、患者さんの検査画像の即時利用が可能・画像の長期保存が可能・医療費の削減・地球環境への配慮など多岐に渡りメリットがあります。

今後とも「安全・安心できる検査」「患者さんに優しい検査」をモットーに掲げ被ばく線量の軽減・確実な検査を実施していきます。



問合せ先 美祢市立病院 [☎0837(52)1700]